



きらめく風

すすんで学ぶ子ども 心ゆたかな子ども 体をきたえる子ども

こどもの日

校長 道山 正史

5月5日は誰もが知っているこどもの日です。端午の節句ともいって、元々は男の子の成長を祝う日でした。3月3日が桃の節句といって女の子の幸せを祈る日なのといっしょです。端午の節句では、男の子のいるおうちでは、鯉のぼりを上げたり、家の中に兜を飾ったりします。また、柏餅を食べたり、菖蒲の葉っぱの入ったお風呂に入ったりします。かしわの葉は、他の新しい葉が生えてくるまで古い葉が落ちないことから、家系が絶えない子孫繁栄を連想させ、菖蒲は、古来中国で邪気を払うのに使われてきたからだそうです。

では端午の節句はなぜ5月に祝うのかというと、ちょうど季節が変わって、病気になるやすい季節だから、その邪気を払うためという説があります。また、鯉のぼりは何のために立てるのかというと、中国に伝わるお話に、黄河の中ほどにある竜門という流れの速いところを登って竜になった鯉の話があります。また、日本にも「鯉の滝登り」という言葉があります。そこから、苦しいことにも負けず、大変なことをやり遂げて立派に成長する力をもった鯉のように、たくましくなってほしいと願って立てるのだそうです。日本にもどちらの話も、おうちの方々が、いつまでも健康でいてほしい、立派に成長してほしいという願いが込められています。

さて、現代のこどもの日は、男の子も女の子も関係なく、祝日法2条で「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」日として制定されています。子供たちには、「こどもの日だからといって、ただおもちゃを買ってもらえる日、おいしいものが食べることができる日、お出かけする日とだけ思わずに、お母さんやお家の人に日頃の感謝をする日でもある。」ということをお忘れしてほしいと思い、先日全校朝会でもお話をした次第です。おうちでもこの連休中に機会を見つけてお話ししてみてください。

転入職員より

今年度、こぶしルームの担当になりました小島です。1年間よろしくお願いたします。 小島 宏之

今年度から毎週金曜日にこぶしルームに来ることになりました。はやくみなさんと仲良くなりたいです。よろしくお願いたします。 西澤 佐紀子

はじめまして。こぶしルームの先生として旭町小学校に来ました、小此木香です。どうぞよろしくお願いたします。 小此木 香